

遷

外来のグローバルと 自前のローカルが入れ替わる。

日本は中世以来、銀の産出国で、17世紀初頭には、世界総産出量の2-3割を占めたと言われていています。当時の世界の貿易では、銀が国際通貨でした。その意味で日本は、まさにグローバル経済の真ん中にいたわけです。日本の銀に注目したポルトガルやオランダの三国貿易は、中国から生糸や絹織物を日本へ、日本から銀を本国へというルートでした。

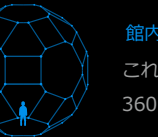
16世紀後半のスペイン・ポトシ銀山の開発と太平洋ルートの開通により、新大陸の銀がアジアへ流入、日本埋蔵銀の枯渇により日本は自国の銀の力で海外の物資を以前のように輸入できない状況に陥り、国産化を余儀なくされました。

グローバル経済から自国経済へ、「鎖国」という幕府の対外政策の背景には、このようなグローバル経済のうねりが横たわっていました。

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <http://www.tcmit.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.